

報告書の要約

1. 本報告書は就労継続支援B型事業所の工賃引上げ等のために、農業への参入方法、参入後の農業のレベルアップの方法を調査研究しまとめたものである。
2. 本報告書はそれぞれの事業所で農業参入検討時、参入後の課題解決等の参考書として活用できる。また、我々中小企業診断士にとっては、就労継続支援B型の工賃引上げ支援に活用することが出来る。
3. 本報告書は、第1章で就労継続支援B型事業所が農業参入する意義や克服すべき課題等を述べ、第2章で農業参入の基礎知識と手順を説明している。第3章で、農業参入後の課題を克服し農業のレベルアップを図る方法をQ&A方式で説明している。
4. 第1章では、アンケート調査及びヒアリング調査の集計結果から読み取れる県内事業所の様々な課題の説明も行った。
5. 第2章では、次の点について説明している。
 - (1) 農業の特徴、就労継続支援B型事業所が取り組む農業と農家が取り組む農業の比較。
 - (2) 農業に取り組む場合の障害種別ごとの留意点等。
 - (3) 農業参入の手順として、プロジェクト体制づくりから農業経営計画の策定までを説明。
 - (4) 営農類型(稲作、露地野菜作、施設野菜作、施設花卉作等の農業の種類)の決め方。
 - (5) 最適な農地の判断、優良農地提供者探しの方法、耕作放棄地等、農地確保の方法。
 - (6) 家庭菜園上級レベル、専業農家レベルを目指す場合の栽培作物の決定方法。
 - (7) 市場流通と市場外流通についての販路開拓の方法。
 - (8) 作業機会確保、工賃引上げを目指すケース別の農業経営計画の作り方。
 - (9) 農業指導者、農業ボランティアの探し方。
 - (10) 農業資材、農具、農業機械、農薬、肥料の種類。
 - (11) 農業に参入する場合に知っておく必要のある法律。
 - (12) 農業に関する情報収集の方法。
6. 第3章では、農業参入後の課題を克服しレベルアップを図る方法をQ&A方式で説明している。Q&Aで説明した内容は、①農業経営全般、②新たな販路開拓の方法、③新たな農産物の検討方法、④栽培技術の高め方、⑤農作業の改善方法、⑥6次産業化等付加価値の高め方、⑦職員の動機付けの方法、⑧農業規模拡大の方法、⑨ボランティア等の探し方、⑩農業に関する法律・制度、⑪農業関連書籍等情報収集の方法、⑫農業関連資材である。それぞれのテーマごとに更に細分化された課題があるので、細分化された課題ごとにQ&Aを作成し説明している。Q&Aで説明した課題に関連する事例をヒアリング調査の中から抽出し了解を得て掲載させてもらった。

以上、他に類例のない実践的なマニュアルが出来たと考えており、自信を以って、就労継続支援B型事業所、農福連携を推進する行政機関等に紹介していきたい。

以上